

## 前回の主なご意見

### (地方大学が目指すべき方向性)

- コロナ禍でのデジタル化は地方大学にとって大きなチャンスであると同時に、グローバル競争に巻き込まれるという意味ではピンチにもなり得る。また、地方大学の予算規模で総花的なあり方を目指すことは現実的でない。地方大学それぞれの特徴・特色を突き詰める必要がある。
- 地方であっても、研究面ではそれぞれの領域でのトップレベルを目指す必要がある。
- 地域のニーズをしっかり汲んだニーズオリエントな大学改革に取り組む必要があり、激変する社会的ニーズに応えるためには、大学自身・大学間の新陳代謝のスピード感が求められる。また、大学人だけで取組を進めるのではなく、民間人を教員や経営陣に加えるなどガバナンス面での改革も必要である。

### (地方大学と様々な機関・取組との連携の必要性)

- 高校や高専も含め、地方大学が地域全体のDX化を牽引する必要がある。
- 地方公共団体、地元産業界、金融機関等との連携が重要であり、首長のリーダーシップも欠かせないが、たとえば世界トップレベルの研究と地域のニーズにはミスマッチが生じたり、地方公共団体としては地元出身の学生への教育への期待が大きいなど、大学からの発信だけでは連携が難しい面もある。
- 地元の産業が必ずしも育っていない地域や、大学も含めた関係機関のニーズが必ずしも一致しない地域もあり、地元との密着だけでなく、全国供給型という方向性も想定される。
- 卒業後の流出状況を踏まえると、既存の産業との連携だけでなく、全く新しい産業を興したり、活躍の場を創出することも求められている。魅力的な仕事は、地域ごとに自分たちで作るしかない。

### (地方大学への支援の在り方についての検討の必要性)

- 競争的資金の割合が増えた結果、地方の大学の財政状況は極めて厳しく、大胆な投資が必要。地方国立大学の定員増の資金的なバックアップも含め、地方国立大学のミッションを踏まえ、運営費交付金の配分のあり方を検討する必要がある。

### (本会議における議論や取りまとめに向けた考え方)

- 地方公共団体、地元産業界や金融機関等との連携について、ある程度の下地ができているような大学・地域を対象としてはどうか。

# 今後の進め方（案）

## 第1回 9月2日（水）

### 【今後目指すべき地方大学の姿】

- ・ フューチャー株式会社会長 金丸様

- ・ ヤフー株式会社CSO 安宅様

### 【関係団体より】

- ・ 国立大学協会

- ・ 公立大学協会

## 第2回（今回） 9月25日（金）

### 【地方大学への期待】

- ・ 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研究所長 小林様
- ・ 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション）付参事官 宮本様

### 【関係団体より】

- ・ 私立大学連盟

- ・ 私立大学協会

### 今回の論点

- ・ 進学の段階で学生に「選ばれる」大学となるために、どのような観点・対応が求められるか
- ・ 各大学が地域のニーズを踏まえた人材育成に取り組むために、どのような改革が求められるか
- ・ 私立大学の現状等を踏まえ、とくに地方国立大学の定員増の実現にあたり、どのような点に留意が必要か 等

## 第3回 10月16日（金）

### 【各地での事例、グッドプラクティス①】

- ・ 大学等連携推進法人（仮称）、地域連携プラットフォーム、地方大学・地域産業創生交付金、革新的イノベーション創出プログラム（COI）など、制度・事業等と関連する動き

※文部科学省より制度関係の説明も実施

## 第4回 11月5日（木）

### 【各地での事例、グッドプラクティス②】

- ・ 大学独自の特色ある取組

### 【地方国立大学の定員増に向けた将来構想】

- ・ 検討中の事例

## 第5回 11月16日（月）

## 第6回 11月25日（水）

## 第7回（最終回（予定）） 12月2日（水）



以降、取りまとめに向けた議論